

平成25年度
次代を担う子どもの文化芸術体験事業－巡回公演事業－

〈児童劇公演〉

とんでもろじいちゃん



公演日程

開催月日	開催都道府県	開催地	開催校	地元主催者
9月 25日(水)	長野県	上田市	上田市立城下小学校	長野県教育委員会,上田市教育委員会
9月 27日(金)	岐阜県	高山市	高山市立東小学校	高山市教育委員会
9月 30日(月)	岐阜県	池田町	池田町立八幡小学校	池田町教育委員会
10月 1日(火)	岐阜県	岐阜市	岐阜市立網代小学校	岐阜市教育委員会
10月 2日(水)	岐阜県	岐阜市	岐阜市立常磐小学校	岐阜市教育委員会
10月 3日(木)	岐阜県	岐阜市	岐阜市立三里小学校	岐阜市教育委員会
10月 4日(金)	愛知県	みよし市	みよし市立天王小学校	愛知県教育委員会,みよし市教育委員会
10月 7日(月)	愛知県	瀬戸市	瀬戸市立下品野小学校	愛知県教育委員会,瀬戸市教育委員会
10月 8日(火)	名古屋市	名古屋市	名古屋市立吹上小学校	名古屋市教育委員会
10月 9日(水)	名古屋市	名古屋市	名古屋市立六郷北小学校	名古屋市教育委員会
10月 10日(木)	名古屋市	名古屋市	名古屋市立松原小学校	名古屋市教育委員会
10月 11日(金)	愛知県	南知多町	南知多町立日間賀小学校	愛知県教育委員会,南知多町教育委員会
10月 15日(火)	静岡県	磐田市	磐田市立豊田南小学校	静岡県
10月 16日(水)	静岡市	静岡市	静岡市立長田西小学校	静岡市教育委員会
10月 17日(木)	静岡県	裾野市	裾野市立南小学校	静岡県
10月 18日(金)	静岡県	沼津市	沼津市立愛鷹小学校	静岡県
10月 21日(月)	静岡県	熱海市	熱海市立網代小学校	静岡県
10月 22日(火)	神奈川県	小田原市	小田原市立早川小学校	神奈川県教育委員会
10月 23日(水)	横浜市	横浜市	横浜市立下末吉小学校	横浜市教育委員会
10月 24日(木)	横浜市	横浜市	横浜市立岡村小学校	横浜市教育委員会
10月 25日(金)	相模原市	相模原市	相模原市立大野小学校	相模原市教育委員会
10月 28日(月)	神奈川県	三浦市	三浦市立岬陽小学校	神奈川県教育委員会
10月 29日(火)	神奈川県	逗子市	逗子市立池子小学校	神奈川県教育委員会
10月 30日(水)	横浜市	横浜市	横浜市立汐見台小学校	横浜市教育委員会
10月 31日(木)	川崎市	川崎市	川崎市立東小倉小学校	川崎市教育委員会

知ってますか?～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会と言う会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲よくなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

「次代を担う子どもの文化芸術体験事業－巡回公演事業－」

小学校・中学校等において一流の文化芸術団体による巡回公演を行い、優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供することにより、次代の文化の担い手となる子どもたちの発想力やコミュニケーション能力の育成を図り、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的とした事業です。公演の実施に当たっては、事前に公演に関するワークショップを行い、児童・生徒を実演に参加させるとともに、実演指導又は鑑賞指導を行います。

あらすじ

いつもボーっとしているところから、学校でクラスのみんなに「ボケタ」と呼ばれているユウタは、「おじいちゃんがボケはじめたから、様子を見に行って欲しい」と両親に頼まれ、夏休みにおじいちゃんのところへ遊びに行くことになりました。はじめは頑固なおじいちゃんのことを恐がっていましたが、大自然の中で一緒に川遊びをしたり、泳ぎを教えてもらったりしているうちに、ユウタは次第におじいちゃんが好きになっていきました。

そんなある日、ユウタは誰も知らないおじいちゃんの秘密を知ってしまいました。おじいちゃんの心には“ひっかかり”があったのです。それは子どもの頃、遊び友達にご本尊様の腕を折った罪をさせたまま、その遊び友達を関東大震災で亡くしてしまったことでした。

おじいちゃんの不思議な力をかりて、ユウタは「ボケタ」といわれる反面でもある思慮深さをもって、おじいちゃんの心の“ひっかかり”を解決していきます。

夏休み、都会の少年ユウタはおじいちゃんと体験する不思議な出来事を通して、現代の子どもたちがともすると忘れてしまいがちな勇気や、相手を思いやる心が芽生え、「ボケタ」と呼ばれる自分に自信を持って成長していきます。そしておじいちゃんは後悔していた子どもの頃の出来事の“真実”を見つけます。それは、二人にとって忘れる事の出来ない夏の思い出となるのでした。

上演にあたって

「早く起きなさい」「早くごはん食べなさい」「早く学校に行きなさい」そして学校から帰って来ると、「早く塾に行かなければ」「早く習い事に行かなければ」「早く…」「早く…」ばかり。みなさんは、こんな毎日をおくっていますか。たしかに今世の中は、すべてにスピードがアップしています。

テレビだって、今、地球の反対側で起こっていることが、その時点で見ることが出来るし、なにが起きているかを知ることができます。新幹線だって、自動車だって、以前の列車や車に比べれば、何倍も早くになっています。早いというのは、たしかに便利なところもたくさんありますし、猛スピードで、科学やその他のものが発達することは、すごいことだと思います。もしかしたら、月だけでなく、種々な星に行くことが出来たりするかも知れません。

でも人間の心はどうでしょう。怒ったり、泣いたり、笑ったり、他の人のことに気を配ったり、出来ないことに挑戦して出来るようになる喜びを得るには、そんなスピードとは反対のような気がします。

時には、ちょっとスピードをゆるめて、今起きていることを良くながめでみたり、自分のことや、まわりにいる人達のことをじっくり考えてみることも必要なことなのではないでしょうか。

このお芝居に出てくるユウタくんは、すべてにスローペース。友達からは“ボケタ”と呼ばれています。それでもユウタくんは、「どうしてなんだろ…?」「なぜなんだろ…?」と、何をする時にも、じっくり考えてからでないと出来ない人です。

福島 靖夫

作品の解説

『とんでろじいちゃん』は山中恒氏の著書で1993年旺文社より出版された(挿絵は堀田あきお氏)。その年の第31回野間児童文芸賞を受賞。1999年大林宣彦監督が、故郷である尾道市の市制百周年を記念し、『ふたり』『あした』に続く新・尾道三部作の完結編として描いたファンタジー作品として映画化された。

原作 山中 恒

1931年生まれ。早稲田大学第二文学部演劇科卒業。児童読物作家。

『赤毛のボチ』で日本児童文学者協会新人賞、『三人泣きばやし』でサンケイ児童出版文化賞、『山中恒児童よみもの選集』で巣谷小波文芸賞、『とんでろじいちゃん』で1993年第31回野間児童文芸賞を受賞。数多くの“児童読み物”を創作する一方、『子どもたちの太平洋戦争』『教える庭に』『ボクラ少国民』などの「少国民シリーズ」で、自らが少国民として受けた戦時下の教育の実態を記録し続ける。『はるか、ノスタルジ』『あばれはっちゃん』『おれがあいつであいつがおれで』など多数の作品が映像化されている。

スタッフ

演出 福島 靖夫

1939年生まれ。1960年劇団ひまわりに入団し、俳優、演出家として活動、現在に至る。

主な出演作品は『くびなしはていどん』、『オニの子・ブン』、『風の鈍兵』、

ミュージカル『スクルージ』、『コルチャック先生』など

主な演出作品は『俺たちは天使じゃない』、『翼』、

『竜王岳のひみつ』、『小さい魔女』、

『クレバープリンセス』など

脚色 劇団ひまわり文芸演出部

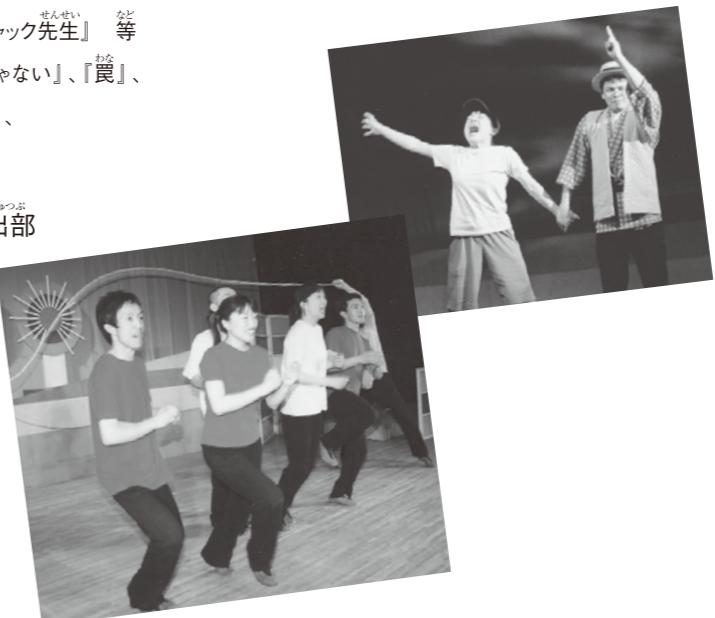
美術 孫福 剛久

音楽 松原 廣和

照明 大阿久 隆雄

衣裳 六田 典子

制作 劇団ひまわり



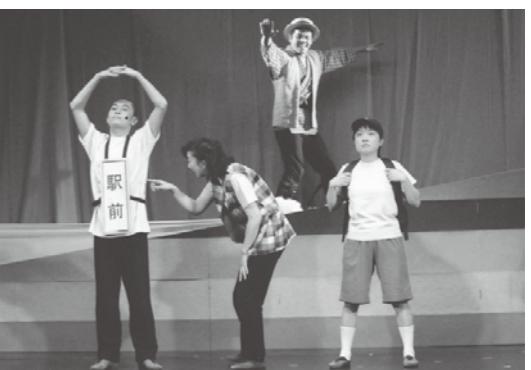
劇団ひまわりのあゆみ

1952年に劇団が出来ました。子ども向けの演劇、ミュージカルなどの演劇を上演したり、俳優養成所で俳優になりたい人のために演劇・

うた・ダンスなどの稽古をしたり、その俳優たちが舞台やテレビに出たりするお仕事のお話をしています。

子ども向けの演劇は1959年、第1回アンデルセン原作の『雪の女王』から、今までの間に、厚生省福祉文化賞・東京都優秀児童演劇優秀賞など、たくさんの賞をいただきました。また、アメリカ・カナダ・イギリス・香港・オーストラリア・韓国など、色々な国でも上演しています。

また、大きな劇場でミュージカル『スクルージ』～クリスマス・キャロル～、舞台劇『コルチャック先生』、『少年H』(1999年)、ミュージカル『家なき子』や、劇団の持っている劇場『シアター代官山』で、劇団員による公演や、『赤毛のアン』、ミュージカル『空色勾玉』など、色々な演劇を上演しています。



キャスト

おじいちゃん: 大阿久 隆雄

ユウタ: 川井 桃子

おばあちゃん: 横島 洋子

パパ: 高橋 浩平

ママ・ミカリ: 佐藤 七重 (二役)

多吉: 寺内 優作

寺男・鯉: 山口 泰央 (二役)

和尚: 大谷 拓弥